

図1 畑の準備

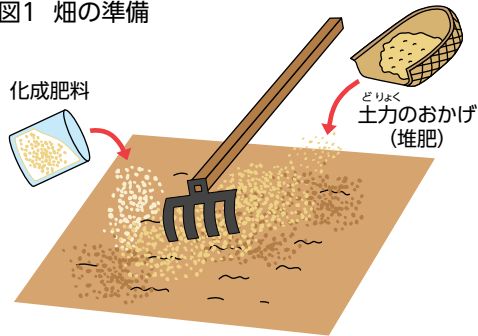


図2 種まき (じかまき)

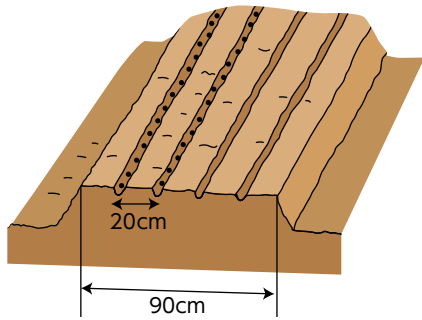
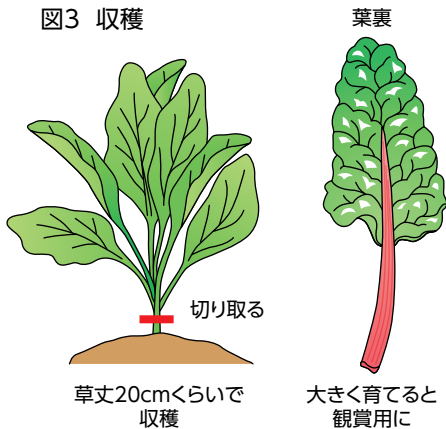


図3 収穫



スイスチャード

カラフルな葉は観賞用にも



スイスチャードは和名をフダンソウ(不
断草)といい、ホウレ
ンソウと同じアカザ
科の野菜で、おひた
し・あえ物・炒め物に利用します。
生育適温は15〜20度ですが、暑さ・
寒さに強く、ホウレンソウの作りに

【品種】

「アイデアル」(サカタのタネ)、「ブ
ライトライト」(タキイ種苗)は葉柄、

【種まき】

10〜30度で発芽し、適温は25度程度
です。じかまきでは条間20cm程度、
株間5cm程度の

間隔で1カ所に
3〜4粒を種ま
きします(図2)。
1粒の種(種球)
から2〜3本発
芽するので、厚
まきしないよう
気を付けましょ
う。種まき後は、
不織布でべたが
けをして、幼苗
を保護すると良

【収穫】

えぐみの少ない若取りを心がけ、
春まきで種まき後40〜50日、夏まき
で30〜40日、秋まきでは40〜60日
で、草丈が20cmくらいから収穫します
(図3)。下葉からかき取って利用す
ると、長い間楽しめます。カラフル
な品種を観賞用とするときは、葉の
長さを40〜50cmまで大きくすると良
いでしょう。また、秋まきでは冬に
向かうにつれ、葉が鮮やかに着色し
ます。

くい夏に容易に栽培ができます。この
ように、フダンソウの名前は季節を
問わず絶え間なく栽培できることに
由来します。中間地では、春まきは
4月に種まきし、5〜6月に収穫し、
夏まきは7月にまいて8月に収穫で
きます。秋まきは10月に種まきし、
12月から下葉をかいて収穫を始め
ます。

葉脈が赤、白、黄色などに着色します。
フダンソウと呼ばれる品種には「ふだ
ん草」「うまい菜」などがあります。

【畑の準備】

事前に1平方m当たり苦土石灰
150gを予定の畑に散布して耕し
ておきます(図1)。その後、化成肥料
200gと土力どりよくのおかけ(堆肥)2kgを
施し、床幅90cmの栽培床を作ります。

【間引き・追肥】

発芽後2〜3回に分けて間引きま
す。初めは本葉が開く頃に、生長の
遅れた株や密になっている所の株を
抜き取ります。最後の間引きで本葉4
〜5枚の頃に株間15cm程度にします。
このとき追肥として化成肥料は1平
方m当たり30g程度を条間に施して
根元に軽く土寄せします。